

創立30周年を記念してのご挨拶

弊社は2017年2月3日で創立30周年になります。

GPS衛星がフルコンステレーションとなる更に前より、GPSに代表される衛星測位システムの開発と普及を主たる業務として今日まで歩んで参りました。

弊社の歩みは衛星測位システムの技術的進歩や発展と軌を一にしてきたもの、と言っても他なりません。

この30年間を顧みますと、皆様方の暖かいご支援のお陰をもちまして、約10年毎に大きなマイルストーンを築いて来る事が出来ました。

先ず、最初の10年は、

携帯型GPSが黎明期でありながら、湾岸戦争により大きく認知され普及が加速した時期です。そして携帯型GPSと合わせ、特に日本ではカーナビの需要がいち早く誕生した時期でもありました。弊社は、米国と日本との間でGPS測位技術の移管とスムーズな橋渡しに尽力しました。これは、日米貿易摩擦解消の好事例として米国国務省からも大きく評価頂きました。

次の10年は、E911の策定により携帯電話向けGPSが加速度的に進化した時期です。

特に緊急用途として、測位精度と合わせ測位感度の向上が大きく必要となって参りました。弊社は、1999年より2年の歳月を費やし世界最高の受信感度:-164dbm(Acquisition)を誇るGPSの開発に成功しました。Acquisitionに於けるこの受信感度は現在でも世界トップレベルにあります。

携帯端末への搭載の他近年ではネットワーク同期用の源信としてこの超高感度GPS技術が高く評価され、ソフトウェアベースのソリューションとして主にライセンス提供しております。

直近の10年に関しましては、

従来測量用途として用いられて参りました搬送波測位技術を更に進化させ、ローコストでありながらマルチ受信が可能、高精度かつ実用に耐えうるL1 RTK受信モジュールの開発に成功。学术界のみならずビジネスユーザー様からも高い評価を賜りました。更に主にトラクター、農機、建設機械や車両、ドローン、ロボット等の自動運転用として独自開発したIMUとの高度カップリングシステムを構築。此方も産業界より高い評価を賜り、量産を通じて正しく普及の途に御座います。このGNSSとIMUを高度にカップリングしたシステムは、CEATEC Award 2015でグランプリを獲得致しました。

さて次の10年ですが、
日本版GPSと呼ばれておりますQZSS(準天頂衛星)のサービスインを2018年に控え、現在急ピッチでQZSS対応のセンチメートル級受信機の開発を進めております。
お陰を持ちまして評価用ユニットの製作は無事完了し、さらなる普及を促す為のチップ化作業を進めております。
チップレベルのセンチメートル級受信機のリリースにより、
現在は主にビジネスユーザーや産業用途向けであった自動運転技術が民生へも加速度的に広がり、ADASやV2X用の基幹技術として弊社技術をご活用頂ける機会が益々増えるものと考えております。
全てがコネクタされる近未来に於いて正確な位置情報は益々重要になります。安全かつ安心な社会の構築に向け、弊社の事業活動がお役立て頂けるよう今後もまい進して参ります。
更に、社会インフラとしての位置情報を鑑みたとき、衛星測位システム全体に対する妨害波やスプーフィング、ミーコニングへの担保は必須な状況です。此方の技術領域に於いても、弊社技術がお役立て頂ければ幸甚です。

飛躍的な進歩を遂げて来た衛星測位システムは今後も更なる進化を遂げ、より広い世界の様々な領域で人々の生活を支える公器として普及して行くものと考えております。
弊社もたゆまずその進化に沿って成長して参ります。

何卒、今後とも宜しくご指導・ご鞭撻賜りたく、お願い申し上げます。

2017年2月3日

マゼランシステムズジャパン株式会社
代表取締役 岸本 信弘